

Sweet
Repair

RUN伴(ランとも)江東区を走る

9月24日(日)、江東区役所をスタートし、江戸川区、葛飾区を経由し、墨田区吾妻橋まで41名のランナーが29・4キロを走り、RUN伴のタスキをつなぎました。

江東区住吉周辺では、趣旨に賛同した店舗から店舗へのリレーが行われ、大人も子供も、インド人も元力士なども皆さん笑顔で参加されました。



認知症の人と一緒に、誰もが暮らしやすい地域をつくる

RUN伴とは、今まで認知症の人と接点が多かった地域住民と、認知症の人や家族、支援者、一般の人、医療福祉関係者がリレーをしながら、一緒にタスキをつなぎゴールを目指し、日本全国を縦断するイベントです。

認知症の人も含めて、様々な人が少しずつ参加して、1つの目標を達成するということが大切になっています。タスキをつなぐことをきっかけに、認知症の人に対するイメージが変わっ

たり、地域のお互いに知らなかった人同士がつながったり、認知症について取り組む地域同士がつながったりすることで、認知症の人も含めて誰もが安心して暮らせる地域がつけられていくことを願って実施されています。

だれでも参加できます

2011年から毎年開催し、開催地域を広げてきたRUN伴。2017年は、7月に北海道をスタートし、35都道府県を通過し、11月に熊本、沖縄そして初の海外進出で台湾にも行きます。

もちろん2018年も開催を予定しています。3人以上いればエントリー可能で、走る方は1人で、他はサポートや応援というケースも大丈夫です。詳しくはインターネットで「ランとも」と検索してください。



シリーズ ニッポン認知症カフェ探訪記

宇都宮市
「オレンジサロン・石蔵カフェ」

春、藤田保健衛生大学の武地一先生から連絡があった。認知症カフェに関する新書を準備中で、その表紙で使用する写真を探しているという。写っている全員から掲載の承諾がほしいとの条件が付されたため、過去に撮ったものから選ぶのは難しいと判断した。

そこで相談したのが宇都宮市の石蔵カフェである。活発な活動ぶり、2012年から続く先駆者的な位置づけ、写真映える明るい室内など、表紙にふさわしいカフェだと考えた。



撮影当日は普段のカフェ開催日ではなかったが、窓口になってくれた金澤林子さんの呼びかけに応じ、常連の人々が集まってくれた。

武地先生の本が無事に出版されたあと、なかなか宇都宮を訪れる機会を作れなかった。

ようやく再訪できたのは10月。石蔵カフェで男性介護者の会「とまり木」が開催される第2土曜の夕方だった。

「とまり木」は男性介護者たちが料理を勉強する会として始まった。もともとは誰も料理の経験がなかったが、家族の介護という事情に迫られ、包丁を握ったという。

「だいぶ上手くなったんですよ」とひとりが笑って説明してくれた。いまでは各自に手打ちうどんや、てんぷらなど得意料理ができたそうだ。

今回は秋の味覚として秋刀魚の塩焼きが選ばれた。記録的な不漁というところで細身の秋刀魚だったが、炭火で30分ほどじっくり焼き上げるところ、実に美味しそうに焦げ目



があった。

日が落ちて18時近くになると、女性たちが集まってくる。昼のカフェでは忙しく立ち回る彼女らも、「とまり木」の日だけは一切手伝わない。全員で食卓につき、ノンアルコールビールで乾杯。

賑やかに食事が始まり、誰が一番きれいに秋刀魚を食べるかという競争が行われていた。

おすすめ BOOK 紹介

100歳の生きじたく

- 第1章 まいにち「自然体」で暮らす
- 第2章 感情的にならずに気分よく生きる方法
- 第3章 病気や病院とどうつきあっていくか
- 第4章 ひとり暮らしで気をつけること
- 第5章 100歳を目前に思うこと

今年99歳。ひとり暮らし歴33年。家事評論家としても活躍している著者は「今日をいちばんいい日にする」と説く。



著者 吉沢久子
発行 さくら舎 1,400円(税別)

撮影でお世話になった人たちに礼を言って回ったが、ひとりの女性だけ、姿がなかった。

聞くと、この夏に若年性認知症だったご主人を亡くし、悲しみが癒えずに戻ってこれないのだという。うちにはもう話しかけても返事がないのよ」と語っていた。撮影時の寂しそうな横顔が思い出された。かつて共に空き家だった石造りの蔵を再生し、希望のカフェを立ち上げた人々にとっても、その訃報は大きな悲しみだったに違いない。家族会の絆とは、他者が簡単に推し量れるものではない。

しかし、ひと夏が過ぎ、いま彼らはその喪失を乗り越えようとしている。そんな時節に家族らの「家」に身を置いていたことを知り、厳粛な気持ちとなった。

コスカ聡一さん

フォトジャーナリスト
全国18か所以上の認知症カフェを回り、ブログや雑誌などでその様子を紹介している。ブログ「全国認知症カフェガイド」を主宰(表紙内人)。